

「自分の山」を登る

9月30日の前期卒業式では11名の卒業生が本校を巣立ち、昨日の後期入学式では、17名の新入生を迎えました。新入生のみなさんは、始まったばかりの香風高校での学校生活にドキドキしていると思います。前から在籍している生徒は、新入生が香風高校に早く慣れることができるよう、声をかけてあげてください。また、新入生のみなさんもわからないことがあれば、遠慮せず尋ねてください。

先日の前期終業式でお話ししたところですが、私は今年度、「自分の外に世界を広げる」というテーマでお話をしています。前期の始業式では、ジャングルジムのでっぺんまで登ると、地面に立っていた時には見えなかったものが見えてくる、というお話をしました。後期のスタートとなる今日は、ジャングルジムよりも高い、山に登るというお話をします。もちろん、これもたとえ話として聞いてください。

みなさんは、どんな山に登りたいですか？

もし、自分の気持ちをおさえて、まわりに合わせて、無理をして「他人の山」に登っても、体力も気力も消耗してしまい、自分の成長は望めません。自分の価値を他人と比べたり、世間の評価で決めたりしている限り、「他人の山」に登り続ける一生で終わってしまいます。

一方、「自分の山」を登れば、体力も気力も充実し、達成感を得ることもできるでしょう。ただし、「自分の山」を登ろうとすれば、自分自身をよく知らなければなりません。自分がやりたいことは何なのか、自分は何が得意で何が苦手

なのか、自分はどんな人間になりたいのか。

自分で考えるのと同時に、家族や親しい友人と、そんな話をしてみてください。これは世間の評価を気にすることとは、別のことです。自分が知らない自分、自分が気づかない長所を発見する機会となります。

さらに今の時期でいうと、現在、みなさんが取組んでいる受講登録は、「自分が登る山」を見つける絶好のチャンスです。どんな科目を選択するのか、自分だけで考えるのではなく、家族や友人、先生とよく相談してください。「自分はどの科目を選択するか」を考えることは、「自分のやりたいこと」「自分の得意なこと、不得意なこと」「自分の将来の夢」について考えることとなります。卒業予定生のみなさんには受講登録はありませんが、香風高校卒業後の進路選択のためには、他人と比べたり、他人の評価を気にしたりして「他人の山」に登るのではなく、「自分の山」を見つけて登ることが一層必要です。

この秋は、自分がめざす「自分の山」について周囲の人に語り、友人が選んだ「自分の山」の話に耳を傾け、自分の外に世界を広げてください。

令和元年10月2日

兵庫県立西宮香風高等学校長

石川 照子